

【 参 考 】

1 貝毒検査結果

海 域	種 類	検査結果（○：規制値以下 ×：規制値超）（MU/g）				規制日～解除日
		検体採取日				
		6月9日	6月16日	6月23日	6月30日	
姫路市西部	アサリ	× (6.4)	○ (ND)	○ (ND)	○ (ND)	4/23～7/2

※ 規制値：4MU/g（食品衛生法に基づく規制値）

※ 1MU(マウスユニット)：体重20gのマウスを15分で死に至らしめる毒の量

※ ND：検出限界値(2.0MU/g)未満

2 プランクトン調査結果

年月日(採水日)		R7.6.30	R7.6.30
生産海域		赤穂市	姫路市西部
麻痺性貝毒原因 プランクトン	アレキサンドリウム カテネラ (旧称) <i>Alexandrium catenella</i> (At complex (旧) <i>A. catenella</i>) (細胞/mL)	0 (<0.02)	0 (<0.02)
	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (細胞/mL)	0 (<0.02)	0 (<0.02)
下痢性貝毒原因 プランクトン	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (細胞/mL)	0 (<0.02)	0 (<0.02)

<注意が必要なプランクトン密度>

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

(旧称) ^{アレキサンドリウム タマレンセ} *Alexandrium tamarense* 5細胞/mL以上、(旧称) ^{アレキサンドリウム カテネラ} *Alexandrium catenella* 20細胞/mL以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種) ^{ディノフィシス フォルティ} *Dinophysis fortii* 50細胞/mL以上